

「日限山小学校・南舞岡小学校」 通学区域と学校規模適正化等 検討部会ニュース

第8号

発行日：令和6年7月9日
発行元：「日限山小学校・南舞岡小学校」
通学区域と学校規模適正化等検討部会
(事務局：横浜市教育委員会事務局学校計画課)

第8回検討部会
日時：令和6年5月29日(水)
10時00分から
会場：日限山地域ケアプラザ
多目的ホール1



はじめに

現在、南舞岡小学校は一般学級数9学級の小規模校となっており、隣接する日限山小学校も、児童数が減少していく見込みです。そこで、「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会において、両校の児童にとってより良い教育環境を整えていくために、学校規模適正化に向けた具体的な対応を検討しています。5月29日(水)に第8回検討部会を開催しましたので、検討状況等について、両校の保護者の皆様や通学区域内にお住まいの皆様にお伝えします。

第8回検討部会の決定事項など

- ・両校の学校規模適正化の対応策として、南舞岡小学校と日限山小学校を統合することについて、改めて事務局から検討部会に対し提案しました。様々な検討を重ねてきましたが、両校の児童にとってより良い教育環境を整えていくためには両校を統合することを、検討部会として了承いただきました。
- ・学校名案の決め方については、両校の児童及び通学区域にお住まいの方からの公募方式になりました。
- ・統合校の特別調整通学区域については、第7回検討部会で決定したものに、新たに南舞岡小学校の通学区域内の舞岡町に特別調整通学区域を設定することになりました。(p.4 ④部分)
- ・統合校の通学路の安全を確認するため、通学安全点検を実施し、実際に歩いて対策が必要な箇所等を確認することになりました。
- ・統合後の地域防災拠点や後利用について、地域の意見を踏まえ、所管する部署と調整するよう、検討部会から事務局に要望がありました。
- ・第9回検討部会では、学校名案を含めた意見書の内容について、検討することになりました。

1 委員の交代

検討部会委員のうち2名の方について、所属団体の役員交代等により退任され、横浜市学校規模適正化等検討委員会条例に基づき、新たに2名の委員を任命しました(敬称略)。

退任した委員		任命した委員	
鈴木 隆行	(舞岡台自治会 前会長)	川上 浩	(舞岡台自治会 会長)
岡崎 陽子	(日限山小学校 前校長)	鈴木 和枝	(日限山小学校 校長)

2 説明会の報告

4月26日・27日に開催した説明会について、事務局から報告しました。なお、検討部会では報告書全文を提供していますが、紙面の都合上、本ニュースには説明会での主な意見・質問等を抜粋して掲載しています。説明会の資料及び報告書については、ホームページ上で公開しています(本ニュース10ページ下部のURL参照)。

【説明会における主な意見・質問等】 (凡例 ☆：意見・質問 ⇒：事務局からの回答)

◆学校規模適正化に関すること

- ☆ 今の南舞岡小学校になにか問題があるのか。私の子どももそこを出ているが、なんの問題もなかった。
⇒ 南舞岡小学校も日限山小学校もそれぞれ、先生、保護者の皆さん、地域の方も支えてくださっている、良い学校だと認識しております。そのため、もし仮に統合となっても、それぞれの学校のよいところを新しい学校に引き継いでいくということについて、部会のなかで検討しているところです。その一方で、6年間ずっと同じメンバーで学習するよりは、クラス替えなどで環境が変わり、新たな意見や多様な個性に出会う機会を子ども達に提供したいと考えております。

◆地域防災拠点に関すること

- ☆ 今、使っている学校だからこそ、地域防災拠点としていざという時に機能できると思う。
⇒ 校舎を使わなくなっても、後利用が決まるまでの間は、地域活動でグラウンドや体育館などを使用し、地域防災拠点としての機能をそのまま残している学校が多い状況です。
☆ 閉校している野庭中学校は地震が起きた場合などに地域防災拠点としてすぐ使える状態なのか。水道に問題があると聞いている。
⇒ 校舎や体育館について、必要な管理は行っています。水に問題があるというようなことがあれば、所管の方に確認させていただきます。また、飲み水に関しては備蓄のものがありますので、備蓄品での対応になると思います。

◆検討部会に関すること

☆ 検討部会を公開してほしい。

⇒ 検討部会の公開・非公開については、毎回部会で決めています。部会委員が発言された意見については、部会ニュースの中でまとめて掲載しています。

☆ 検討部会の議事録を出してほしい。

⇒ 非公開で行っている会議の議事については、公表していません。

☆ 地域の代表として、自治会の役員、会長等を選んだ理由はなにか。

⇒ 地域の代表は、日頃からよく学校に関わっている方を各団体から選出していただいております、必ず、自治会長をお願いしているわけではありません。自治会の中でも日頃から学校に関わっていただいている、子どもたちの状況、学校の状況をよくご理解いただいている方ということをお願いしています。

◆その他

☆ 自治会やPTAに入っていない方の意見はどうするのか。

⇒ 自治会・PTAに入っていない方もこの検討部会にいろいろなご意見（電話・FAX・メールなど）をお寄せいただいております。ご意見については、検討部会で、全てご説明し、検討を進めていただいております。

☆ 適正化とはなにかもう一度考えてほしい。同じようなことをメールで書いたが、部会ニュースに何も載っていない。アンドウ様より（※ご本人の希望により、氏名を掲載しています。）

⇒ 今回の説明会でいただいたご意見として、次回の検討部会にも報告のうえ、説明会報告書に掲載させていただきます。未回答のものの有無を確認し、未回答のものがあれば、その旨を検討部会に報告します。

※これまで事務局宛にメール・FAX・郵便・電話等でお寄せいただいたご意見・ご質問等につきまして、未回答のものは確認できませんでした。もし未回答のものがありましたらお手数ですが、再度送付いただければと思います。

☆ まだ意見を言い足りないので、また説明会を開いてほしい。

☆ 中学生になってもいじめの相談をしたのは南舞岡小学校の先生だった。南舞岡小学校に行って親身になって先生に話を聞いてもらえて、今中学校に行くことができている。もともになる学校がなくなったら、子どもはどこに頼ればいいのか、根本がちぎられるような状態になる。そういうことを親としては見てはられない。

☆ 学校は一度なくなってしまったら、なかなか戻ることはないと思う。慎重にお願いしたい。

3 両校の学校規模適正化に向けた対応案についての検討

【検討部会における主な発言や意見】（凡例 ☆：各委員の発言 ⇒：事務局等からの説明）

☆ 住民からいろいろなご意見が出ていますが、それに対してどのように対応されるのかお聞かせいただけますか。

⇒ ご意見すべてを受け入れることは難しいですが、頂いたご意見については、丁寧に答えていく必要があると考えています。例えば、説明会の中でも、統合後、個別支援学級が一緒になったときにどうなるのかが良くわからないというご意見がありましたので、これまでの統合校での取り組み事例などを説明していく必要があると考えています。

☆ 地域や保護者の100%の合意が得られるわけではないことはわかっていますが、反対する意見も無視するわけにはいかないと考えています。どのように考えていますか。

⇒ この検討部会では、学校教育として全体のお子さんたちのことを考えて議論していただいております。その一方で、ご不安を感じている方については、自分のお子さんに対して、どういう対応になってくるのかということを中心に心配されていると思いますので、事務局で個々に丁寧に対応していきたいと考えています。

☆ 教育委員会では、統合をいろいろ経験されているので、その経験を生かして、みんなが新しい学校に期待できるようにならないかなと思います。

⇒ 例えば、これまでの学校統合では、統合前の交流期間に、A校の教育活動にB校のお子さんが参加する、B校の地域行事にA校のお子さんが参加するなど、徐々に交流を深めていっています。また、学校の文化などについても、新しい学校に継承したいものなど、子ども達みんなで話し合ったりしています。そのような交流期間を過ごしていく中で、新しい学校というものへの意識づけや気持ちを高めていくような取り組みをしています。

☆ 交流期間は1年くらいだと聞いていますが、それくらいの期間で今までも大丈夫だったということですか。

⇒ 今年の4月1日にいずみ野小学校の開校式に出席しました。この学校は2校が統合して、新しい学校になったのですが、子ども達はすでに仲良くなっており、みんなが落ち着いて開校式を迎えていました。その学校も1年くらいの交流期間で統合しています。

- ☆ 個別支援学級に関しては、半数くらいの先生が異動せず学校に残った状態を一年間キープするようなことができる、子ども達や保護者も安心できるのではないかと思います。
- ⇒ この部会では最終的に意見書という形でこの部会の考え方をまとめていきます。他の部会の意見書の中には、環境変化に児童が順応できるよう、教職員の配置について配慮をお願いしたいといった要望なども盛り込んでいるものもあります。学校間で交流がありますので、統合することですべての状況が変わるということはありません。
- ☆ 例えば、地域防災拠点がどうなるのか、後利用がどういう流れで決まっていくのかなど具体的な話が、住民の方、不安に思っている方に伝わらないとなかなか納得いただけないのかなという気がします。
- ⇒ 学校を使わなくなった後、どうなっていくのかということについては、教育委員会だけではなく、全体の施設の管理等をしている財政局、地域の状況などをよく知る区役所等と一緒に、そこにどういう施設があった方が良いかをまずは調査します。民間事業者に譲渡する場合でも、このような用途で使ってほしいなどの条件を付けて公募をして、後利用が決まっています。現時点で、南舞岡小学校の後利用がどのようになるのかというのは申し上げることはできないのですが、地域のニーズを考えながら公募の条件は整理していきますので、行政で勝手に売却してしまうなどといったことはありません。また、後利用が決まるまでの間は、学校開放としてグラウンドや体育館が使われていた団体が、そのまま使っている状況が多いです。
- ☆ 発災時に誰もいない南舞岡小学校の鍵は本当に開くのか不安があります。地域防災拠点の主管の方がきちんと出てきて説明していただかないと、地域防災拠点の維持としては納得できません。統合したところで、学校ではなくなったけれども防災拠点としているところが何カ所あるのか、防災訓練の状況なども教えていただきたいです。
- ⇒ これまで統合等した事例のうち、閉校となった校舎でそのまま地域防災拠点として利用継続した学校の校舎は14校あります。地域防災拠点に関しては、運営委員会という形で実際に災害があった時に鍵を開ける訓練や運用する訓練等をやっていたかと思っています。地域防災拠点として残るのであればその運営委員会自体は継続になります。地域防災拠点によりますが、運営委員会が中心となって、年に何回か訓練等を行っている状況です。また、防災備蓄庫等もそのまま残っていますので、その中にある飲料水や食糧、拠点運営に必要な発電機等の更新やメンテナンス等についても行っています。
- ☆ 閉校になった後、学校に先生がいない中で、誰が地域防災拠点のリーダーになるのかが、一番心配だと感じます。地域防災は統合した後が大変だと思うので、それを皆さんと一緒に考えないといけないと思います。
- ☆ 現在、キッズクラブに関しては、両校とも同じ法人が運営しているので、統合後も引き続き、同じ法人が担うというのを事前に決めることは不可能なのでしょうか。例えば、運営母体は変わらないというのが、先に決めることが可能であれば、それだけでも安心材料の一つになるのではないかと思います。
- ⇒ 今と同じキッズクラブの運営法人で、事前に再選定という形で決めることが可能かは確認させていただきます。
- ※所管に確認したところ、新たな学校になるため、手続きとしては、公募で運営法人を募集し、選定となります。令和7年10月下旬頃までには選定される予定です。
- ☆ 日限山小学校のキッズクラブの利用者が年々増えていて、南舞岡小学校と統合したときはキッズクラブのスペースが足りるのか不安です。両校のキッズクラブの利用者を合わせたら、改築なども必要になるのではないかと、個別支援学級の児童数も全市的に増えているので、教室が足りるのかという保護者の方の心配も良く分かります。
- ⇒ 現在と同じように、キッズクラブの専用の教室と兼用の教室で運用していくことを想定していますが、内部改修を行うか、どこの教室を使うかなど、具体的な運用については今後、学校やキッズクラブと調整して決定していくこととなります。統合が決まれば、必要な対策は事務局として責任をもって行っていきます。
- ☆ 子ども達には学校の先生から前もって学校統合について、話してほしいと思っています。統合することに対して、学校の先生方は、子ども達の気持ちがわくわくするように、タイミングや話の仕方を考えて話してくださいと思っています。学校から子ども達が聞いて、子ども達の話をお母さんが聞くようになれば、子ども達は心配ないと思います。
- ☆ どちらの学校の子も先に情報を知ったとか、説明のニュアンスが違ったりすると、トラブルの元になると思うので、子ども達の認識のずれがないように、事務局も一緒になって調整していただきたいです。
- ☆ 寄せられた意見を読んでいるとまだ不安材料があって、納得していない方もいる中で、疑問を解消しないままでも良いのかという思いがあります。
- ☆ いろいろな不安を解消するにはどうするのか。統合という前提を決めないと、議論が進まないと思います。前提が決まれば、今後のことも決めていけると思います。
- ☆ いろいろなお意見ありましたが、当部会としては両校の児童にとってより良い環境を整えていくため、第7回検討部会で示された事務局案である、日限山小学校・南舞岡小学校の統合が適切と考えますがいかがでしょうか。

(了承)

☆ これまで、説明会やご意見のなかでも、何度も「部会の公開・非公開について」や「部会委員の再選考について」のお話が挙がっていて、そのたびに心苦しく思ってきました。私たちは、この部会の場に PTA や各自治会の代表として出てきていますが、私たちも地域の住民です。部会委員それぞれ思うところもあるなかで、代表として、様々な方の意見があることを踏まえたうえでこの場に出てきているということを経験して理解していただきたいです。部会のなかでの自らの発言の重みについても非常に責任を感じているからこそ、この部会の場だけではなく、子ども達に関係している方々にご意見を伺ったり、自分たちで資料を用意したりと、さまざまな準備をして部会 1 回 1 回に臨んでいます。そういった熱が皆さんに伝わっていないのは悔しく思います。この部会が終わったあとも、地域の住民としてこれからも長く住んでいきますし、長く付き合っていきます。公開にすることによって、変な誤解やしこりを残したくないという理由で、非公開を選択しているのであって、決してここで行われていることが秘密にしなければならないことがあるというわけではありません。

4 統合校の特別調整通学区域について

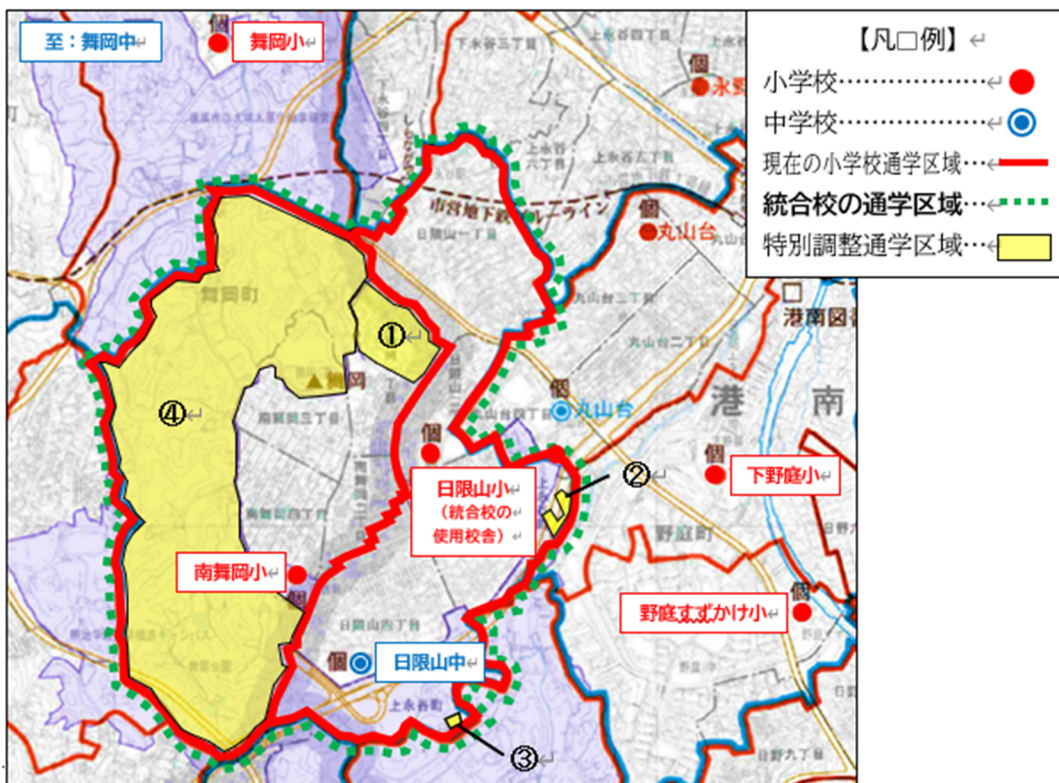
第 7 回検討部会で、学校統合する場合は舞岡町の児童・生徒は舞岡小学校・舞岡中学校を選択できる特別調整通学区域を設定するよう要望をいただき、事務局と関係校で調整した結果、設定することになりました。

※特別調整通学区域…入学時に指定校と受入校のいずれかを選択できる制度。

※下表中の「/」は特別調整通学区域を表す。(指定校/受入校)

番号	町名番地	現在	統合校
①	戸塚区南舞岡一丁目 1 番～22 番	南舞岡小/日限山小 日限山中	統合校 日限山中
②	港南区上永谷町 4772 番地の 1、 4772 番地の 19～4772 番地の 24、 4775 番地の 27、4775 番地の 38 ～4775 番地の 46	日限山小/下野庭小 日限山中/丸山台中	統合校/下野庭小 日限山中/丸山台中
③	港南区上永谷町 4587 番地	日限山小/野庭すずかけ小 日限山中	統合校 日限山中
④	現在の南舞岡小学校通学区域の 舞岡町	南舞岡小 日限山中	統合校/舞岡小 日限山中/舞岡中

【通学区域図】



5 学校名案の決め方について

統合校の学校名案の決め方については、「両校の児童」または「両校の児童及び通学区域にお住まいの方」から公募のうえ検討部会で検討する「公募方式」と、検討部会で検討する「部会検討方式」がありますが、本検討部会では、「両校の児童及び通学区域にお住まいの方」から公募のうえ検討部会で検討する「公募方式」を採用することになりました。アンケート結果を参考に次回の検討部会で学校名案を協議します。

【学校名案＜公募方式＞ 実施概要】

公募方式	(1) 日限山小学校、南舞岡小学校の児童には、学校でアンケート用紙を配付し、提出していただきます。 (2) 日限山小学校、南舞岡小学校の通学区域にお住まいの方（保護者含む）には、第8回部会ニュース配付後、別途、アンケート用紙を全戸配付します。 (3) 学校名案のアンケート結果を参考に、次回の第9回検討部会で学校名案を協議します。
------	---

※応募いただいた案を参考に検討部会で協議を行うため、必ずしも応募数の多い名称が学校名案として採用されるものではありません。

【検討部会における主な発言や意見】（凡例 ☆：各委員の発言 ⇒：事務局等からの説明）

- ☆ 私は公募方式が良いと思います。子供たちも自分の考えた学校名になるのではないかと期待感と、新しい学校を創っていくという楽しみを持てると思います。
- ☆ 児童はもちろんのこと、地域の方の意見があった方が良いでしょう。
- ☆ 統合してまったく違う名前になることもあるため、それも良いかと思っています。子どものアイデアと大人のアイデアが入ると良いと思います。
- ☆ 子ども達が日限山小学校・南舞岡小学校の友達とこれから一緒にいることを理解してから、学校名のアンケートの配付という流れで合っていますか。
- ⇒ 部会ニュース・アンケートの配付時期については、学校が児童に説明する時期に合わせる形で、学校側と事務局側で調整させていただきます。

6 通学安全対策について

統合校の通学路の安全を確認するため、主に保護者代表の方と想定通学路を実際に歩いて点検することになりました。実施結果は要望書にとりまとめて、より安全な通学路となるよう関係機関（警察、道路管理者等）へ提出します。なお、点検の実施時期については今後調整します。

【検討部会における主な発言や意見】（凡例 ☆：各委員の発言 ⇒：事務局等からの説明）

- ☆ 通学安全点検は、日限山小学校と南舞岡小学校のPTAが主体となって歩くということでしょうか。
- ⇒ 具体的にどの方をお願いするかは調整させていただきます。

7 検討部会に寄せられた意見及び質問等（凡例 ◆：意見・質問 ⇒：事務局からの回答）

※お寄せいただいたご意見等は全て検討部会に報告し、検討の参考とさせていただきました。なお、紙面の都合上、抜粋・要約して掲載しています。

- ◆・ 部会ニュースには会議の内容がすべて書かれていますか。
⇒ 紙面の都合で要約していますが、部会で出た意見が網羅されるように掲載しています。
 - ・ 傍聴ができないのはなぜですか。
- ⇒ 本部会は、非公開で検討を進めているため、傍聴についても同様にお断りしています。
 - ・ 非公開では会議の内容が分かりません。公開すべきではないでしょうか。なぜ非公開にするのですか。
- ⇒ 部会の中で、部会開催ごとに公開するか否かを決めています。委員個人のデリケートな話などがあるため、本部会はこれまで非公開で検討を進めてきています。

- ◆ ・ もし統合した後に爆発的に児童数が増えたらどのように対応するのですか。
 - ⇒ 児童数が爆発的に増えるのは大規模なマンションなどの住宅が同時期に開発される場合です。日限山・南舞岡の地域は建築協定や用途地域の関係で大規模マンションは建ち難い地域です。また、開校以降の長期的な児童数の推移を見ても、今後児童数が爆発的に増えることは考えにくいです。
 - ・ 統合したら通学路が変わりますがどのように対応するのですか。
 - ⇒ 検討部会で想定通学路を実際に歩いて危険箇所を点検します。点検結果を取りまとめ、関係機関に通学安全に関する要望を提出し、児童の通学安全を図っていきます。
 - ・ 統合を決めてから通学安全を考えるのは順序が間違っています。保護者全員に意見を聞いているのですか。統合が決まった後に通学に危険があることが分かった場合は統合を撤回するのですか。
 - ⇒ 事務局もこの検討開始以前から実際にまちを歩いて、仮に統合する場合に致命的な危険となるような箇所はないことを確認したうえで検討を始めています。なお、ご意見はどなたからも随時受け付けており、通学路に心配箇所がある場合もお寄せいただきたいと考えています。
 - ・ 大人だけで話し合っただけで決めるのではなく、実際に通う子ども達のことを1番に考えてほしいです。
 - ◆ 最初の説明会は学校で開催していたのに、なぜ今回の説明会は行きにくい地区センターなのですか。
 - ⇒ 日限山小学校・南舞岡小学校の学校規模適正化の検討は両校の課題として考えています。両校の保護者や地域の方が一同に会し、両校の意見が聞けるような場であり、ある程度の広さを確保できる会場として舞岡地区センターとしました。
 - ◆ 絶対に統合しないで下さい。自分自身が子供の頃に南舞岡小学校に通っており、南舞岡小学校の小規模が良く、わざわざ南舞岡の学区に家を買って、南舞岡小学校に通わせています。家を買う時に統合という話は聞いていません。数千万円の買い物判断材料となることを、たった1~2年で決めず、せめて13年(家を買う時に妊娠中の子が卒業するまで)かけて行って下さい。1つの学校を運営するのに、どれだけの税金がかかっているのかわかりませんが、先生方の負担やいじめの問題など、それらしい話を並べて納得させようとししないで下さい。南舞岡の先生方が早い時間に帰られてる姿、よく見かけます。お子さんがいらっしゃる先生方で、ワークライフバランスが確保できている素晴らしい学校だなど見ていたのですが、行政のおっしゃる先生方の負担は具体的にどのようなものなのでしょう？一般論ではなく、南舞岡の先生方が困っているなら、それを教えて下さい。小規模だから、色んなことで代表になれる場面も増える。子供達の自信につながっています。人数が増えれば問題を抱えているお子さんの人数も増えます。先生方の目も行き届かなくなります。せっかく今平和な学校なのに、トラブルが増えるのが分かっている、統合に賛成なんて出来ません。また、学校の統合は学校だけの問題ではなく、働く親としては、子供の居場所であるキッズクラブの問題があります。学校が統合すると、キッズクラブも再度選定し直すという話がありました。子供が放課後を安全に過ごすことが出来る居場所を奪わないでください。もちろんまた楽しい居場所になる可能性もありますが、子供の安全をそんな一か八かの可能性にかける訳にはいきません。行かなくなってしまっても、その結果事故が起こってしまっても、誰も責任取ってくれないですよ。行政からしたらたった一部の家庭の話かもしれませんが、そのたった一部の家庭では死活問題なのです。学校を統合した後も、学校名、校章、校歌等を決める際、多数派の日限山の意見が採用されてしまう可能性が高く、別の統合校も両方の名前が残ってる学校や吸収した側の学校名となっている学校がありますが、アンケートで決めたら、多数派の日限山の意見に寄ってしまいます。情に訴えかけるような、反対しづらい、先生の苦労やいじめの問題等を前面に出して仕方ないとなるのを待っているように感じます。子供が放課後も安全に過ごせる居場所を奪わないでください。
 - ⇒ 適正規模校でも小規模校でも学校全体として必要な事務作業・行事負担は大きく変わりません。そのため、校務分掌や学校行事など適正規模の学校では複数の先生で分担ができる場所、小規模校では一人の先生がより多くの業務を担わなければなりません。また、適正規模校では各学年に複数の先生が配置されることで、一人の児童を複数の先生が見ることができ、学習指導や児童指導における有効な手立てを学年内で共有し、個に応じた適正な教育も行いやすくなります。放課後キッズクラブについては、現在南舞岡小学校と、日限山小学校では同じ法人により運営されています。仮に学校統合する場合、運営法人を再選定することになりますが、開校時期に間に合うように選定を行いますので、継続して利用いただけます。また、学校名案の検討について、「両校の児童」または「両校の児童及び通学区域にお住まいの方」から公募のうえ検討部会で検討する「公募方式」と、検討部会で検討する「部会検討方式」があります。いずれの検討方式も、票数が多いものが学校名案として決定されるわけではありません。

◆ 5/7(火)に回答をいただきましたが、問い合わせの内容に全然答えていただけていないので、答えていた部分や、返信に対しての意見を再度お送りいたします。

まず1点目。「南舞岡小学校の小規模が良く、わざわざ南舞岡の学区に家を買って、南舞岡小学校に通わせています。家を買う時に統合という話は聞いていません。数千万円の買い物の判断材料となることを、たった1~2年で決めず、せめて13年(家を買う時に妊娠中の子が卒業するまで)かけて行って下さい。」こちらへの返答が全くありませんでした。

2点目。「行政のおっしゃる先生方の負担は具体的にどのようなものなのでしょうか？一般論ではなく、南舞岡の先生方が困っているなら、それを教えて下さい。」とお伝えしたのにも関わらず、回答が南舞岡小学校のことでなく、一般論でした。南舞岡小学校の先生方が本当に困っているのですか？私自身仕事をしていて、人が多ければ分担はできるけど、全てにおいて広く浅くなってしまい、良いことばかりではありません。各学年に複数の先生が配置されることが良いことと返信がありましたが、1年間、1人の先生が35人を見るのと、1年間、3人の先生が105人を見るのと、何が違うのでしょうか？同じ学年だとしても、他のクラスの生徒まで見る余裕が本当にありますか？学年内で共有して、個に応じた適正な教育ができると回答がありましたが、それは小規模の方が行いやすいと思います。どう考えたら適正規模校の方が個に応じた適正な教育が行いやすくなるという結論になるのでしょうか。

3点目。「人数が増えれば問題を抱えているお子さんの人数も増えます。先生方の目も行き届かなくなります。せっかく今平和な学校なのに、トラブルが増えるのが分かっている、統合に賛成なんて出来ません。」という部分にも全く触れていただけていませんが、どうしてお考えですか？

4点目。キッズクラブを同じ法人が運営していることも知っていますが、再選定するのであれば、同じ法人が取れるか否かは確実ではないし、同じ法人が取れたとしても、スタッフの方々がどのようになるかも分かりません。開校時期に間に合うなんて、当たり前のお話をしているではありません。子供達の気持ちの話をしています。行きたくないとなってしまうたら、今せっかく安全に過ごしている場所があるのに、それが無くなってしまいます。今まで統合してきた学校のキッズの再選定の経緯(元の状況、再選定の結果、スタッフの割合等)をご紹介下さい。

5点目。学校名案が公募式と部会検討式なのは分かりましたが、票数が多いものが決定されるわけではないとはどういうことでしょうか。複数案出てきた場合、どのように決めるのですか？過去の統合校の学校名等の決め方などもご紹介いただかないと、中々みんなに当事者意識を持ってもらえないと思います。こちらでもご紹介をお願いします。本当に、統合しないでください。

⇒ 1点目について、御意見として承ります。

2点目について、校務分掌や学校行事など適正規模の学校では複数の先生で分担ができる場所、小規模校では一人の先生がより多くの業務を担わなければならないことにつきましては、南舞岡小学校も例外ではありません。

3点目について、御意見として承ります。

4点目について、小学校の統合に伴う、放課後キッズクラブ運営法人の選定につきましては、公募にて運営法人を募集しており、放課後キッズクラブ運営目的を理解し、効果的に目的を達成できる法人を公平かつ適正に選定します。また、職員の雇用については、選定された運営法人に対してこれまでの活動の継続性や児童への影響を考慮した職員の雇用に努めるよう、公募要項で定めています。

【参考】過去5年間(R2~6年開校)に統合した学校の運営法人選定状況

- 統合校：上菅田笹の丘小学校(NPO法人 シャーロックホームズ)
- 統合前：笹山小学校(笹山小学校はまっ子ふれあいスクール運営委員会)
- 統合前：上菅田小学校(NPO法人 シャーロックホームズ)
- 統合校：菅田の丘小学校(株式会社理究キッズ)
- 統合前：菅田小学校(株式会社理究キッズ)
- 統合前：池上小学校(株式会社理究キッズ)
- 統合校：いずみ野小学校(株式会社スマイルクルー)
- 統合前：いずみ野小学校(社会福祉法人 はとの会)
- 統合前：阿久和小学校(株式会社 スマイルクルー)

5点目について、公募方式によりアンケートを実施した場合、アンケート結果を参考に、検討部会で学校名案を決定し、横浜市学校規模適正化等検討委員会に提出する意見書に反映します。検討部会での決定方法について、過去の1例としては、アンケートで挙げられたいくつかの案に対して、検討部会内で無記名投票を行われたことがあります。最終的には部会の中でどのように学校名案を決定するのが良いのかについても話し合い、決定します。

【参考】過去5年間(R2~6年開校)に統合した学校の学校名案の決め方

- 公募方式(4校)：上菅田笹の丘小学校、菅田の丘小学校、上白根北中学校、いずみ野小学校
- 部会検討方式(1校)：丸山台中学校

◆ 南舞岡小学校と日限山小学校の学校統廃合の跡地利用についての意見です。南舞岡の個別級の評判がとてよいため、ノウハウがなくなるのは勿体ないので、ぜひ公立の星槎中学、星槎高校の様な公立の学校を作って欲しいです。現在、軽度の発達障害の子達の進学先の選択肢にインクルーシブ高校がありますが、いきなり一般級の子達と同じ授業を受けても、理解が遅いから、退学する子が多いと聞きます。特別支援学校に行くほどは重くはないが、一般級の授業にはついていけない、グレーゾーンの子達が増えているので、ぜひ受け皿になる様な公立の中学、高校を作って下さい。一般級に通いたい子はインクルーシブを選択できる。それに不安がある子は、公立でその様な学校があれば選択できる様にして欲しいです。1から作るよりは、今ある校舎を利用できるのがよいと思います。

⇒ 現在、日限山小学校及び南舞岡小学校の児童にとってよりよい教育環境を整えていくために、検討部会において学校規模適正化に向けた具体的な対応を検討しています。仮に両校を閉校して統合し、新たな学校として開校する場合、統合校の使用校舎とならない学校の後利用については、地域の皆様のご意見を踏まえながら、関係区局と連携して調整していくことになります。

◆ 先日、舞岡地区センターで行われた説明会に参加したのですが、時間切れということで質問が出来なかったため、メールさせていただきました。説明会で発言したかった内容は以下の通りです。

①いじめの問題をよく挙げられますが、いじめはクラス替えて解決するのでしょうか？イベント時等、結局一緒に過ごさなければならず、解決しないと思います。いじめは根本的に無くすることが大切であって、そのためには小規模の方が1人1人に目が行き届きやすいです。現在、我が子が通っていますが、クラスの子、全員の顔と名前が分かります。何か起これば色々な方面から気付くことが出来るし、いじめ自体を発生させない環境作りが大切だと思います。また、学校規模といじめに相関関係が無いとおっしゃるなら、統合への共感を得やすい、いじめの話を持ち出すのはやめてください。

②キッズクラブは再度選び直すと同いました。我が家は共働きで、学校よりもキッズクラブで過ごす時間が長いです。学校もちろんですが、南舞岡小学校はキッズクラブも素敵な先生ばかりで、参加率が高いと伺っています。子供が行きたくないとなってしまうと、子供の安全な居場所が無くなってしまいますので、検討の中でキッズクラブについても議論して下さい。

③本当に統合をしないでいただきたいです。こんなに素敵な学校を無くさないでください。統合しないという結論に辿り着くためには何をしたら良いのでしょうか。説明会でおっしゃっていたように、まちづくりには時間がかかります。おっしゃる通り、学校統合とまちづくりの時間軸は異なります。その間の子供達の良好な学習環境の整備と何度もおっしゃってましたが、現在、十分に良好な学習環境が整っています。一度統合してしまえば、時間軸がずれているまちづくりが達成したとしても、元に戻ることはありませんよね？時間軸がずれているからこそ、現時点で統合という結論にしないで下さい。良好な学習環境を壊さないで下さい。

当日発言したかった内容は以上です。ここからは当日の対応を見ての意見です。

次のご予約の方に迷惑がかかりますので、と何度も発言して、時間切れで質問することが出来なかったのに、会場が15時まで抑えられていました。嘘が1つでも入ると、何も信じられなくなります。嘘は絶対についてはいけなかったと思います。これは部会ニュースにもしっかりと載せて下さい。そして、もう一度時間制限で打ち切ることをしないで説明会を開いて欲しいです。

また、説明の中で議事録の開示を求める意見に対して、開示はしていないような旨の回答があったように認識しているのですが、検討部会の議事録は行政文書にあたると思いますので、情報公開制度の対象になるのではないのでしょうか？情報公開請求の案内をした方が良かったと思います。また、情報公開請求には文書名が必要なので、文書名を教えてください。

学校統合について、賛成の方、反対の方、無関心の方がいらっしゃいます。説明会への参加率を見ても分かる通り、9割以上は無関心だと思います。統合したら自分達にはどういう影響があるのか(学校名や校歌、校章等が変わる話はみんな全然知らないようです。通学帽等、自費で購入している物は、再度保護者負担で購入するのでしょうか?)具体的にお示しいただき、日限山小学校にも南舞岡小学校にももっと当事者意識を持つように動いて欲しいです。

⇒ 説明会に御参加いただいたにも関わらず、御質問することができなかったとのこと誠に申し訳ございません。なお、開示請求については、御指摘のとおり当該実施機関の職員が組織的に用いるものとして、当該実施機関が保有している行政文書が対象になりますが、当検討部会の議事録につきましては、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」の第7条2項4号に定めのある不開示情報に該当すると考えています。そのため、議事要旨を部会ニュースに掲載しています。

◆ 南舞岡小学校が廃校になってしまうのではないかと、地域の方は心配しています。学校は、運動会など文化の中心で、地域の大切な場所です。心理的にも中心地と思って過ごしています。統廃合は子どもがいる・いないに関わらず、地域にとって大きな問題です。自分は1軒1軒地域を歩いて話を聞いて回っています。特に高齢の人は、9割以上の方が、学校がなくなると困ると言っています。今日は3.11だが、防災も学校が中心です。何かあればどこに避難すればよいのだろうと不安になります。また、歩きながら署名を集めている中で、若い母親たちからは、学校がなくなると困る、自然の中で遊ばせたくて南舞岡小に入れた、という声も多いです。部会ニュースを読むと、「子どもはタフだからすぐ慣れる」という発言があったようです。自分も教師をしていたのだが、今はいじめがどんどん増えていて、自殺している子どももいるのになぜ子どもはタフだなんて言えるのだろうかと思います。個別支援学級の母親も、今は日限山小4クラス、南舞岡小4クラスで合計8クラスなのに、統合すると6クラスになって圧縮されることを心配しています。今この地域は世代交代が進み、子育て世帯が増えていきます。ぜひ地域のみなさんの声を聞いてほしいです。

⇒ ご意見ありがとうございます。次回の部会で報告させていただきます。

◆ 私たちは横浜市の学校統廃合を市民の問題として考えるために発足した団体です。宗教や党派を超えて活動しています。2022年より横浜市教育委員会による港南区日限山小学校と戸塚区南舞岡小学校の統廃合問題が起きていますが、学校規模適正化と銘打った現在までの進め方は初めから統廃合が前提と思えてなりません。文部科学省が公表している公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引によれば小・中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、各地域のコミュニティの核としての性格を有することが多く、防災、保育、地域の交流の場等様々な機能を併せ持っています。このため、学校規模の適正化や適正配置の具体的な検討については、行政が一方的に進める性格のものでないことは言うまでもありません。学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や就学前の保護者の声を重視しつつ地域住民の十分な理解と協力を得るなど「地域とともにある学校づくり」の視点を踏まえた丁寧な議論を行なうことがのぞまれます。(文科省手引より一部抜粋)上記手引でもあきらかなように、学校統廃合は「地域の合意形成が大事」としています。しかし横浜市教育委員会学校規模適正化検討委員会が進める「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化は地域住民、保護者に満足な説明をすることなく、非公開の検討部会で一方的に統廃合を進めています。我々の住む南舞岡には5319人(2023年)が暮し、この統廃合に反対する署名は3057人うち南舞岡小学校学区内1035人に達しています。(2024年5月現在)この反対署名であきらかなように、南舞岡地区では合意形成が成されていません。山中竹春市長には強い指導力を発揮して、合意形成が成されるように横浜市教育委員会学校規模適正化検討委員会を指導してください。以上を山中竹春市長に陳情いたします。

⇒ 学校統合は学校規模適正化方策の一つであり、検討にあたっては、保護者や地域関係者、学校長等により構成される検討部会を設置し、議論を重ねながら進めています。また、検討内容を「検討部会ニュース」にまとめ、保護者や地域住民に全戸配付し、御意見や御質問を受け付けています。いただいた御意見等につきましては検討部会で全件報告し議論を進めております。学校規模適正化は、児童生徒や保護者、さらには地域の皆様にとって大変重要なことであり、様々な御意見を踏まえつつ、丁寧に検討を進めてまいります。本市では、皆様からお寄せいただいたご意見等は、その内容を所管する部署が適切に把握し、真摯に受け止め、横浜市として責任を持って対応することとしています。

◆ 現在、南舞岡小学校・日限山小学校の統廃合について議論が進んでいると思います。先日、南舞岡小学校に通う息子と、南舞岡小がこれから本当になくなってしまいかもしれない、という話をしていたときに、息子自身の「学校をなくしてほしくない」という気持ちを手紙に書くから、たくさんの方が目にするところに送って欲しい、という提案をされました。どうしても自分が今思っている気持ちを伝えたいということで、送らせていただきます。

「ぼくは、南まいおか小学校が、なくなってほしくありません。どうしてかというと南まいおか小学校で、いろいろな、ともだちと、であえて。いろいろな心をもって。いろいろなことをまなべて、たくさんのおもいでをつくれました。そのことを、もっとつなげたいです。それをこわさないでください。これからもっとつくとちゅうなので、南まいおか小学校がなくなってほしくないです。」

⇒ このたびは、御意見をお寄せいただき、ありがとうございます。いただいた御意見につきましては、5月29日に開催した検討部会で報告し、お子様の手紙についても共有させていただきました。

◆ ①2024/4/27の説明会に出ました。舞岡地区センターの体育館は15:00まで借りてあったのに12:00で会を終わりにしたのはどうしてですか？相談会で発言したい方はまだいたのに。当日は、南舞岡小学校の引き取り訓練もありました。どうして同じ日にしたのですか？わざとしているように思えます。会場はもっと近い地元（学校の体育館、自治会館など）してください。再度、説明会または意見交換会を開いてください。子ども、保護者、地域の皆さんの意見をもっと聞きたいです。

②「いじめ問題」は、小規模校でも大規模校でも起こり得るとの答弁でした。それならば小規模校での「いじめ問題」をことさら取り上げ、解決するには学校規模を適正化しなければいけないとした今までの見解は何だったのでしょうか？小規模校こそ早期発見できるし、解決につながるができると思います。

③子どもの権利条約に明記されている「子どもの意見を聞く」ことをしてください。保護者の意見も聞いてください。

④地域住民の2割の方が「南舞岡小学校と日限山小学校をこのまま残してください」の署名に賛同しています。住民の合意は得られていません。防災拠点でもある学校を残してください。

⑤南舞岡小学校の児童数はこの先も極端に減ってはいません。一定数で安定しています。むしろ学校がなくなれば地域が衰退し、人口が減少します。学級の定数を30人とすると学級数は増えます。こちらに力を入れてください。世界では20人、25人学級が一般的です。

⑥統廃合は、国の少子化対策と真逆です。横浜市は子どもを育てやすい環境を整えていくことが大事です。

⑦検討部会を公開してください。公開できないならば、議事録を公開してください。どんな意見がどなたから出されたのか、どのような説明がなされたのか、当事者として知る権利があります。密室のなかで行われるのはおかしいです。

⇒ 説明会については、開催日時や会場等でご不便をおかけしたこと誠に申し訳ございません。

いじめや人間関係の問題については、学校規模に関わらず、どの学校でも起こり得る問題です。

一方、学年に複数の学級があることで、クラスを分けるといった対応がとれるようになるなど、解消に向けた対応の選択が増えると考えています。また、複数の学級があること、クラス替えがあることにより、子どもにとっては、多くの友達や個性と触れ合う機会が増え、運動会などのイベントにおいても活動の幅が広がり、教職員にとっても学級の枠を超えた学習活動や多様な指導形態を展開しやすくなるなど、総合的なメリットがあることを捉えて、子どもたちの教育環境をより良くするために学校規模適正化を推進しております。

学級編制の標準については、本市では現在、段階的に「35人学級」へ引き下げる国の法律に基づき、小学校第1学年から第5学年で35人以下学級を実施しており、令和7年度までに小学校全学年で実施する予定です。ご提案のような30人学級制など、本市独自での更なる少人数学級編制については、人材や財源の確保などの課題がありますので、今後も、国・県・他政令市等の動向や児童生徒・学校・地域の実情を踏まえながら、引き続き対応を検討してまいります。

検討部会の公開・非公開については、会議の開催ごとに検討部会にお諮りしたうえで決定しています。部会委員が発言された意見については、部会ニュースの中でそれぞれ掲載しております。また、非公開で行っている会議の議事については、公表する予定はありません。

<その他>

◆ 横浜市会宛に提出された『日限山小学校・南舞岡小学校』通学区域と学校規模適正化等検討部会についての請願』については、3月26日の本会議において不採択となりました。

◆**第9回検討部会について** ※会議は非公開とすることを決定しました。

日時：令和6年8月28日（水）10時00分から 会場：日限山中学校 図書室
検討内容：意見書の内容等

◆**説明会の資料・報告書について**

◆**「日限山小学校・南舞岡小学校」通学区域と学校規模適正化等検討部会の検討経過等について**

説明会の資料・報告書、検討部会の会議案内や会議録、ニュースについては、ホームページからもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/tekiseika/shokibo/kounantotsuka.html>



◆**事務局（お問い合わせ先）**

皆様からのご意見やご質問を受け付けております。Eメール、お電話またはFAXでお寄せ下さい。

横浜市教育委員会事務局学校計画課

Eメール：ky-kounan2022@city.yokohama.jp

TEL：045-671-3252

FAX：045-651-1417

